# 2	事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画) 22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成										
据 第 3 国際・サービス (1985年) 1987年	事務事業名 地域活力基盤創造交付金事業										
#	総合 政 策	1 人々:	が安全に安心	して暮らせる	まちづくり	所属	禹部 都市建	設部	課長名	上原哲	也
本学年 1	計画 施 策	5 道路	ネットワークの	充実		所属	選課 建設課	Į.	担当者名	川俣洋	一郎
京学科	体系 基本事業	14 道路	環境の整備			所属	属班 工務班	E	(内線)	2277	
接て、網絡中度	予算科目			<i>y-</i> /							
29 1 中央の中央				11507			単年度のみ	単年度			
中変の対数 中央	終了、開始年度	21年	度で終了 [22年度か	ら開始事	業期間					
日本学生(3度経過上100m、建山と号線に1400m、大池括本稿に120m、銀代出野な良紀1400m、東山と早株末線に220m、湖水で発酵・選手に交通を140mと名解情な変数を3変要経済が30分配の言語を32年、240m、東山大学を20mの表情の表情の表情の表情の表情の表情の表情の表情の表情の表情の表情の表情の表情の								2. 金田 亚出	0年度から	5 W 88.	44 l++> - +
(単位) (世位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (世位) (単位) (世位)	(開始した背景・ きっかけ・今後の 状況変化を含む)	各事業量 L=220m)。 宅開発が進 幅員構成及 尚、H22年 L=705m、建	(須屋線L=100 事業開始時期 み更に交通量 び歩道の設置 度から事務事 建山2号線L=5	00m、建山25 川において各足 量も増加してお 量によりスム- 業統合により 70m、大池植	号線L=1400n 各線は交通量 3り、通学路6 -ズな通行が J地域活力基 i木線L=720n	n、大池植木約 も多く重要路 并用の重要な 出来る整備が 盤創造交付金 n、御代志野の	泉L=720m、御線でありなか 線でありなか 幹線道路とし が必要とされる 金事業に上記 な島線L=400r	即代志野々島終 ら道路幅員独 いて位置づけら る。 路線を登録す n、県道大津	線L=400m、! 挟小、歩道の かれている。 * 「る。H22年』 植木線L=220	県道大 未整備 今後も3 度以降 Om)	津植木線 情等、近年、住 交通量に応じた 事業量(須屋線
正意見で要望 地域住民及び道路利用者から道路価値や歩道整備の要望がある。 金書市総合政策審議会から用地交渉の民間委託等は出来ないかとの提案があった。 金書市総合政策審議会から用地交渉の民間委託等は出来ないかとの提案があった。 金書市総合政策審議会から用地交渉の民間委託等は出来ないかとの提案があった。 1 現状甲腺の筋(()()() 日本済業をの目的定指標	【業務の流れ】 関係機関協議、測量設計、不動産鑑定業務、用地交渉、登記、支払、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払										
照条者に民、議 ・実装別を新 ・実装別を新 ・ 実施でありらど 人が定見や受疑が 寄せられているか? 1 現代中限の部 (DO PLAN) () 手改業をひ目的: 指揮 () 手投手をひ目的: 指揮 () 手投手をひ目の () 上に () 大統 () 上に () 大統 () 上に () 上に () 大統 () 上に () 上に () 上に () 上に () 上に () 大統 () 上に	【主な予算費目】	委託料、公	有財産購入費	、補償補填及	なび賠償金、	工事請負費					
(1) 事務事業の目的と指揮 ① 手段性を結動 21年度実績(21年度に行った主力活動) (19(1) 19(5年度 15 動) 19(5年度 15 動) 21年度 19(5年度 15 も 15	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が										
① 手段(主方店勒) 21年度実績(21年度に行った主た店勤) (DO) 関係機関協議、不動途艦主業務、用地交渉、登記、積算、工事発法、現場鑑督、中間・竣工検査、支払											
	(1) 事務事業の目的と指標 ① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 関係機関協議、不動産鑑定業務、用地交渉、登記、積算、工事発注、現 関係機関協議、不動産鑑定業務、用地交渉、登記、積算、工事発										
・ 7 道路改良延長	④活動指	標(事務事業の)活動量を表す	指標)=①の指	 ē標	(単位)					(単位)
主要市道	⇒ ア 道	路改良延長									
3 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		対象にしてい	るのか) * 人々	や自然資源等	<u> </u>			大きさを表す指	6標)=②の指	標	
法帯がなくなり、スムーズな通行ができる *⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 未整備区間の整備完了を目標に事業を進めていく (2) 各指標・総事業費 の推移 単位 19年度 20年度 21年度 22年度 23年度 24年度 月込 (3) 計算標 7 m 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615 2615						⇒ <u></u>					
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 未整備区間の整備完了を目標に事業を進めていく (2) 各指標・総事業費 単位 19年度 20年度 21年度 22年度 23年度 月込 ④ 活動指標 ア m				のか)	•••••			達成度を表す	指標) =③の指	≨標	(単位)
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	渋滞がなくなり、ス	ムーズな通行	亍ができる			\Rightarrow					
未整備区間の整備完了を目標に事業を進めていく	* 6 成里指揮設定	の押由と死	式99年度日標	動はいって	±m.	1					<u>.</u>
(2) 各指標・総事業費の推移 単位 19年度 実績(決算) 実績(決算) 目標(当初予算) 実績(決算) 目標(当初予算) 子定 見込 表績(決算) 目標(当初予算) 子定 見込 表積(決算) 目標(当初予算) 子定 見込 (表積) (表積) (表積) (表積) (表積) (表積) (表積) (表積)	个	2の连田と平)	双乙乙十段 日份	ド胆苡足の似	17/2						
の推移 単位 実績(決算) 実績(決算) 表します。 また				未整備区間	間の整備完了	を目標に事業	を進めてい	<			
の推移 単位 実績(決算) 実績(決算) 表します。 また	(a) A Holai (v) = viii	- 曲.								П	
実績(決算) 東續(決算) 東線(決算) 車線(当小子算) 予定 見込 360											
(4) 活動指標 イ	. 1100		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)		1 1			
⑤ 対象指標 ア m 2615 2615 2615 ⑥ 成果指標 ア % 20 77.8 91.5 全体計画 21 20 2 2 25 年度 866,950 第 地方債 千円 261,200 164,100 73,500 第 地方債 千円 13,750 8,700 3,900 大 (A) 事業費計千円 13,750 8,700 3,900 (A)のうち時間外、特勤 千円 13,750 8,700 3,900 (A)のうち時間外、特勤 千円 17 7 7 7 人 正規職員従事人教 人 7 7 7 7 人 (共 延べ業務時間時間 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,	④ 活動指標						523	1512	360		
⑥ 成果指標 ア % 20 77.8 91.5 日庫支出金 千円 336,050 211,200 94,600 財 都道府県支出金 千円 261,200 164,100 73,500 地方債 千円 261,200 164,100 73,500 業 千円 13,750 8,700 3,900 (A) 事業費計千円 13,750 8,700 38,000 172,000 (A) 事業費計千円 0 0 0 0 611,000 384,000 172,000 (A) 事務費計千円 7 7 7 7 (A) 正規職員従事人数 人 7 7 7 7 費 近米 業務時間時間 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134 5,134							2615	2615	2615		<u> </u>
国庫支出金 千円 336,050 211,200 94,600 数値府県支出金 千円 261,200 164,100 73,500 期 下の	© 7847=	イ ア %					20	77.8	91.5	र्गर्पर	
サ 新道府県支出金 千円 投業 () 地方債 千円 大費 (A) 事業費計 千円 (A) のうち時間外、特動 千円 大性 延べ業務時間 時間 (B)人件費計 千円 () () () () () () () () () ()		7								22	~ 25 年度
事 / 原 地方債 千円 261,200 164,100 73,500 期間 大 その他 千円 13,750 8,700 3,900 28,250 大 (A) 事業費計千円 0 0 0 611,000 384,000 172,000 1,249,000 度 (A)のうち時間外、特勝千円 (A)のうち時間外、特勝千円 7 7 7 7 28 (B)人件費計 千円 0 0 0 0 20,433 20,433 20,433 20,433 81,733	*#* > * +# 1 = 1 = 1						336,050	211,200	94,600		686,950
投費 業 課 課 (A) 事業費計 千円 13,750 8,700 3,900 (8,700 3,900 3,900 3,900 (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,2000 4) (7,20	事源地方						261,200	164,100	73,500		533,800
投費 一般財源 千円 13,750 8,700 3,900 人費 (A) 事業費計 千円 0 0 0 611,000 384,000 172,000 (A)のうち時度外、特勝 千円 (A)のうち時間外、特勝 千円 (A)のうち時間外、特勝 7 7 7 人件 延べ業務時間 時間 5,134 5,134 5,134 5,134 (B)人件費計 千円 0 0 0 20,433 20,433 20,433	교수 글만 사면 ㅋ			•••••							
大費 (A)事業費計千円 0 0 0 611,000 384,000 172,000 (A)のうち指定経費 千円 (A)のうち時間外、特動千円 7 7 7 人件 延べ業務時間時間 5,134 5,134 5,134 (B)人件費計 千円 0 0 0 20,433 20,433 20,433	投一一一般則					ļ	13,750	8,700	3,900		28,250
量 (A)のうち指定経費 千円 (A)のうち時間外、特勝 千円 人 正規職員従事人数 人 件 延べ業務時間 時間 5,134 5,134 5,134 費 (B)人件費計 千円 0 0 0 0 20,433 20,433 20,433 81,733 度ののみ 28	世.		0	0	0	0			· ·	数年	
人 正規職員従事人数 人 7 7 7 件 延べ業務時間 時間 5,134 5,134 5,134 費 (B)人件費計 千円 0 0 0 20,433 20,433 20,433	三.									度	_
人 止税職員处事人数 人 (件 延べ業務時間 時間 5,134 5,134 5,134 (B)人件費計 千円 0 0 0 20,433 20,433 20,433	(A)の756時間						-	-			00
費 (B)人件費計 千円 0 0 0 0 20,433 20,433 20,433	/ \		 			ļ	5 13 <i>4</i>	/ 5 13/	5 13/l	記	
	z##.		0	0	0	0				戦	
	トータルコスト(A)+(B) 千円	0	0	0	0					

	事務事業名	地域活力基盤倉	 造交付金事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課	
2	評価の部(SEE) *原則は21年度の	事後評価、ただ	し複数年度事業は21年	- F度実績を踏ま	えての途中評価			
	①21年度目標達成	度評価	■達成した		Į	権成しなかった	⇒【 原因】 ⑤	
尿達出	事務事業の前年度実績に 達成したか、未達成の場 ②22年度目標達成 事務事業の本年度目標	合その原因は? 見込み 値に対して本年度の	等による事業進捗の 「 目標達成見込みあり 年次計画を策定し、	D遅れがある。 →【理由】 → 交付決定額と	調整を行ない事	目標達成は厳し 業を進めてい	定を受けた。また用地交渉難航	
	見込みはついているか? ③成果の向上余地		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	⇒【理由】 ラ		加力を不めた		
有効性評価	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか		成果は事業が完成 く。	しないと発揮で	できないが、事業員	晨終年度完 了	を目標に道路整備を進めてい	
	4類似事業との統廃合・連携の可		□他に手段がある (具体的な手段,事務事業) □ (人他に手段がない → 【理由】 □ (無廃合・連携ができる → 【理由】 □ (無廃合・連携ができない → 【理由】 □ (ましており類似事業はない。					
	⑤事業費の削減余	地	削減余地がある	⇒【理由】 🎝	✓	川減余地がない	⇒【 理由】 →	
	成果を下げずに事業費を開 様や工法の適正化、住民の		用地買収及び工事 行いながら単価等の				りコスト縮減に努め経済比較を	
性評し	⑥人件費(延べ業務 余地		□削減余地がある	⇒【理由】 🞝	✓	川減余地がない	⇒【 理由】 →	
価	やり方を工夫して延べ業務時成果を下げずにより正職員以きないか?(アウトソーシング)	人外の職員や委託でで	本事業は、国庫補助 度内において職員を				市とされているため必要最小限 担当できない。	
	⑦受益機会·費用負地	負担の適正化余	見直し余地がある	⇒【理由】 🥠	V 2	公平・公正である	5 →【理由】 🤼	
性評価	事業の内容が一部の受益 平ではないか?受益者負力 ているか?	者に偏っていて不公 担が公平・公正になっ	地域はもとより市民	の通行利用も	あることから、公	Eであると判	断できる。	
役割い	⑧行政の役割分担	の適正化	見直し余地がある	⇒【理由】 🤼	Ò	と割分担は適正	である ⇒【 理由】 →	
評	事務事業のやり方や手段に 行政、市が行ってきた範囲 に移行出来ないか?	こおいてこれまでの を住民や地域・団体	市道は道路管理者	である合志市	が管理することと	なっており、..	民間委託等はできない。	
3	評価結果の総括	(SEE) ※事	务事業全体の振り返	り、成果及びほ	2省点等を記入			
	人 // ~上上 // /	事務事業担当調	用会)/DL ANI)					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

合志市